

橋の科学館 第18回 講演会

大鳴門橋開通30周年

# 大鳴門橋の形状計測

～地球・風・温度変化をいかに克服したか～



大鳴門橋での夜間におけるケーブル架設作業の様子

平面で設計した大鳴門橋を、丸い地球の上に設置することの困難さを解説します。

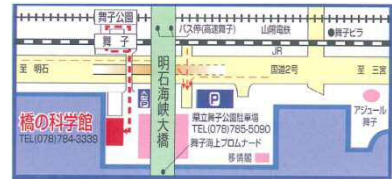
大鳴門橋の建設が始まった昭和52年当時は、まだGPSがない時代であり、地球上のどの位置に橋があり、どこどこを結んで橋を造るかは、地図に頼るしかなく、そのままではどうしても誤差が生じてしまいました。

また、橋は、温度、風、荷重によっても変形します。そのような課題をどんな方法で克服し、橋を設置していったのかを紹介します。

日時：平成**27**年**5**月**16**日(土) **15**時～**16**時**30**分

場所：**橋の科学館**

神戸市垂水区東舞子町4-114( JR舞子駅下車 海側へ徒歩5分、  
山陽電鉄 舞子公園駅下車 海側へ徒歩7分)



講師：本州四国連絡高速道路(株)OB  
(元本四公団鳴門工事事務所)

おくだ もとい 氏  
**奥田 基**

入館料：大人 **310**円、小・中学生 **150**円

募集人数：定員 **50**人

参加方法：

電話でお申し込み	
TEL:078(784)3339	
氏名・住所・電話番号をご連絡ください	

FAXからのお申し込み	
FAX:078(784)8888	
下記にご記入のうえ、送信してください	

E-mailからのお申し込み	
hashino-kagakukan	
@jb-highway.co.jp	
氏名・住所・電話番号をご連絡ください	



いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき管理・保護します。  
また、申し込まれた方の情報は、講演会以外には使用しません。

「橋の科学館 講演会」に申し込みます。

No.18-20150517

ふりがな 氏名 (代表者)		ふりがな 同行者氏名	
住所 (代表者)	〒 ー		
電話番号 (代表者)		E-mail (代表者)	